

2018年度秋学期 セメスター語学留学

Letters from Manitoba

2019.3.6

こんにちは！社会システム学科のH.O.です。ここウィニペグで、気温が-20~30℃の毎日や、体感気温-50℃の極寒を乗り越え、いよいよ帰国の日が近づいてきました。さて今日は、私のウィニペグでの生活についてご紹介します。

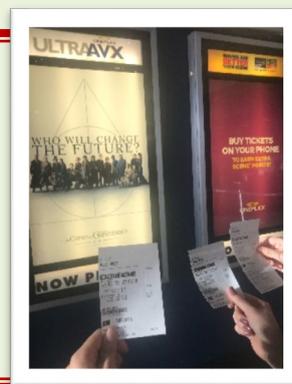


私が通っているマニトバ大学には、毎週木曜日に「ランゲージエクスチェンジ」というプログラムがあります。現地の学生と日本人学生が、日本語と英語を使用して会話をを楽しむプログラムです。意外にも、日本に興味を持っている学生の数多くて驚きました。日本語の文法や単語の意味を説明したり、日本の観光地について話したり、プログラムの後に一緒にご飯へ行ったり。ネイティブスピーカーの方と英語を話す機会を得られる面白いプログラムです。



語学学校のアクティビティでは、クロスカントリースキーへ行きました。これは、スキー板をつけて雪の上を滑り歩くスポーツです。雪山を滑るスキーとは違って歩くことがメインなので、誰にでも挑戦しやすいと思います。極寒のため雪がたくさん積もっていますが、山がない平坦なウィニペグだからこそできるスポーツだと思いました。

St.Vital Centreにある映画館では、毎週火曜日に全ての映画のチケットが通常価格の半額（8ドル）で購入できます。日本の映画館とは違い、座席を決めずにチケットのみを購入します。シアターに入り、自分の好きな席に座ることができます。日本よりも先に、日本よりも安く映画が観られますし、英語のリスニングの練習にもなるので、ここで映画を見るのがおすすめです！



ウィニペグはとても寒く、遊びに出ることが億劫になることも多いですが、とても優しく・面白く・良い人がたくさんいるあたたかい街です。ここで5か月間留学できて良かったなと思っています。

(社会システム学科2年次生 H.O.より)